

酒井茂活動ブログより(令和2年)



3/24㊦ 新型コロナと医療機関の再編統合



厚労省は現在公立・公的医療機関の再編統合(病床削減)を進めています。

一方、新型コロナの感染患者への対応として、各都道府県に対して病床の確保を要請しています。

病院の再編統合問題では病床数を減らせと言ひ、コロナでは病床を確保せよと言う、一体地方はどう対応すればいいのでしょうか。

9/20㊦ 新型コロナ対策を知事に要望



県庁で自民党県議団から知事に対して新型コロナ対策に関する要望活動を行いました。

提言は感染防止対策、経済対策など県の施策や国の施策に関するものです。

私は意見交換の中で、次の意見を述べました。

○医療機関における防護具の確保が不十分であることから、国や県は早急に対応すべきである。

7/22㊦ 県道整備期成同盟会の総会



伊那市・県道整備促進期成同盟会の総会が開催され、同会の顧問として出席しました。

国や県の財政状況は年々厳しくなり、コロナ対策で巨額の税金の投入が必要になっているため、道路整備に充てる財源を確保することが一層困難になりますが、市内の県道は計画的に整備を進める必要のある箇所が多くあり、今後も同盟会として積極的に活動していかなければなりません。

10/13㊦ 三峰川総合開発期成同盟会の総会



熊本県では球磨川が氾濫して甚大な被害がでたことから、建設計画を中止していた上流の「川辺川ダム」について、知事はダムによらない治水からの転換を表明しました。

三峰川の源流である南アルプスは地質が脆弱なため、三峰川上流域の防災対策を早急に進めなければなりません。

私は、計画が中断している三峰川上流の「戸草ダム」の建設に向けた検討を早急に始めることが重要と考えます。

8/7㊦ 「大清水川」治水砂防促進同盟会の総会



この川は急峻であり川幅が極端に狭い箇所や護岸が未整備の箇所が多いため、豪雨時には水が護岸から越水したり、未整備の護岸が浸食されることがあり、災害には弱い川です。

下流になるほど川幅が狭く、下流の両岸には家屋が多数存在することから、計画的に整備を進めなければなりません。

10/13㊦ 歯科医師会との懇談会を開催



上伊那歯科医師会と上伊那選出県会議員との懇談会が開催され、出席しました。

この懇談会は毎年開催しており、情報交換や意見交換を行って歯科保健行政の推進に反映しようとするものです。

私は、コロナ対策に関して次のような発言をしました。

- ① コロナ感染防止のため歯科医師の先生方には大変な苦勞をされ、歯科医院での感染を1件も出さなかったことに感謝する。
- ② 歯科医院でもコロナ感染防止のための防護具の確保に苦勞されているが、十分な量の確保のために努力したい。

8/11㊦ 医療機関で防護具が不足



信州大学が7月に県内の医療機関を対象に行った調査によると、高性能マスクなどのコロナに対応する防護具が不足していることが分かりました。厚労省では行き渡っているとされていますが、現場では大変な状況が続いていることが、今回の調査で明らかになりました。

先日コロナ対策に関して県議会の健康福祉委員会の閉会中の審議が行われましたが(写真)、こうした状況について担当からは説明がありませんでした。県は重要な情報を正確に議会に伝えなければなりません。

10/14㊦ 15㊦ 原子力災害伝承館を調査



「原子力災害伝承館」は、原発事故の記録を後世に伝えるアーカイブ拠点施設として、9月20日にオープンしました。

施設のある福島県双葉町は、2011年3月に発生した福島第一原発の事故により避難指示が発令され、現在全世界帯が避難生活中です。町のほぼ全域が現在も「帰還困難区域」に指定されています。

施設の見学を終えて、原子力と津波による複合災害の恐ろしさあらためて理解することができました。

9/3㊦ 上伊那教育7団体との懇談会



上伊那教育7団体連絡協議会と上伊那選出県会議員との懇談会が開催され、出席しました。

懇談の中で、私は次の事項について考え方を述べました。

1 高校改革について

・魅力ある高校づくりを行い、行きたくなる高校にしていかなければならない。

2 教職員の配置について

・非常勤の教員が多いが、積極的に正規教員を増やさなければならない。

3 伊那養護学校の教育の充実について

・校舎や寄宿舎の老朽化による要改修箇所も多く、早急に整備していかなければならない。

11/4㊦~6㊦ 東日本大震災遺構を調査



「東日本大震災遺構・伝承館」は、大津波で被災した気仙沼向洋高校(水産科)の校舎を活用し、被災したままの状態を保存しています。

校舎3階には津波で流されてきた車とそのまま残されており、津波の高さを知ることができます(写真)。

隣接する施設には、映像や展示コーナー、講話や学習のための研修室があり、中学生や高校生が学習に訪れていました。災害の恐ろしさを知り、災害について学習するには大変良い施設です。